



文責：  
アンドリュー・リトル、  
公認SRIカウンセラー  
リサーチ・アナリスト

日付：2021年6月17日

トピック：テーマ投資




## GLOBAL X ETFリサーチ

# 米国のインフラ整備への貢献が期待される4つの企業

現在米国では、インフラ整備が話題の中心になっています。長年にわたる停滞を経て、米国がいよいよ大型のインフラ支出に向けて動き出したようです。3月31日、バイデン政権が「**米国雇用計画 (American Jobs Plan)**」を発表しました。この計画は、主要なインフラ分野に連邦政府の予算を集中的に投入することで、国の基盤の再生を目指すものです。対象には、道路や橋、港湾や水路、建物や公共交通機関をはじめとする物理的なインフラに加え、クリーンエネルギーや関連するクリーンテクノロジー、最新鋭の水道施設、デジタルインフラなどといった次世代分野が含まれます。

「雇用計画」については、現在、議会で民主・共和両党の議員が法案の具体的な内容について交渉し、活発な議論が行われています。この雇用計画を反映した法案がどの時点で成立するかは不明ですが、2021年には大型の公共支出法案が成立し、米国のインフラ関連企業に数十億ドルが投入されると予想されています。対象企業には、建設・エンジニアリングサービス、製品・機器、原材料・複合材料、産業用輸送に関わる企業が含まれます。

## 米国のインフラ開発サブテーマ

<p><b>建設・エンジニアリングサービス</b></p> <p>発電・配電、上下水道、通信、輸送（道路、橋、トンネル、鉄道）、空港、港湾などといった大規模なインフラプロジェクトのエンジニアリング設計、メンテナンス、建設サービスを提供する企業。</p>	<p><b>原材料・複合材料</b></p> <p>インフラプロジェクトの建設・開発に利用される原材料・複合材料（鉄鋼、銅、ニッケル、錫、アルミニウム、コンクリート、アスファルト、セメント、特殊化学品）を生産・供給する企業。</p>
<p><b>製品・設備</b></p> <p>大規模なインフラプロジェクトで使用される建設重機、クレーン、電気・光ケーブル、パイプ、ポンプ、スマートメーターなどの製品・機器を販売・レンタルする企業。</p>	<p><b>産業輸送</b></p> <p>インフラの原材料や機材を輸送する企業。</p> 

出典：Indxx U.S. Infrastructure Development Index Methodology (2020年11月)



## ジェイコブス・エンジニアリング・グループ: 建設・エンジニアリングサービスをエンド・トゥ・エンドで提供

ジェイコブス・エンジニアリングは、21世紀の米国におけるインフラ整備の一翼を担う、様々な建設・エンジニアリングサービスを提供する企業です。提供するサービスは、伝統的なインフラから次世代のインフラに至るまで幅広く、以下のような分野が含まれます。

- **交通インフラ:** 主要な高速道路や橋梁システムの建設や改修、入念な計画と建設による港湾や水路のパフォーマンスの最適化、鉄道網の拡張など、交通プロジェクトの設計、計画、遂行を担います。最近の代表的なプロジェクトとしては、コロラド州デンバーのインターステイト高速道路70号線を12億ドルかけて再構築した際にリードエンジニアを務めたこと、サンフランシスコ港の近代化と耐性・強度を高めるためのプロジェクトをプロジェクト・マネージャーとして主導したこと、米国で初となる文字通りの「高速」鉄道をカリフォルニア州で設計したことなどが挙げられます。<sup>1</sup>
- **建物:** 建築物やその他の構造物に関するプロジェクトの計画、設計、施工を担当します。ジェイコブスは、政府機関、ヘルスケア／ライフサイエンス、情報技術、航空業、製造業などのクライアントと協力のもと、各エンドマーケットで多様で持続可能なソリューションを提供してきた実績を持ちます。最近の関連プロジェクトには、FDA(アメリカ商品医薬品局)本部の中央棟、テキサス大学とペンシルバニア大学の新校舎、デンバー国際空港のコンコース拡張プログラムにおける約60万平方フィート(6億5,000万ドル)分を対象とした建築・エンジニアリングサービスが含まれます。<sup>2</sup>
- **クリーンエネルギー／クリーンテクノロジー:** 再生可能エネルギーや電化に関する、コンセプトデザイン、プロジェクトの立地、環境・影響評価、許認可、プロジェクトの設計・管理、建設、継続的な運用・保守など、エンド・トゥ・エンドのサービスを提供しています。過去に手掛けたプロジェクトには、風力発電、水力発電、地熱発電、太陽光発電などが含まれます。また、ジェイコブスは、水素エネルギーのプロジェクトにも精通しています。<sup>3</sup>
- **水インフラ:** 水源からの取水、配水・貯水、処理・リサイクル、廃水管理・回収など、上下水道のバリューチェーンに沿ったプロジェクトのエンジニアリング・コンサルティングサービスを提供しています。直近の契約プロジェクトには、カリフォルニア州史上最大の配水プロジェクトである「ウォーターフィックス・プログラム」や、コロラド州の「プレーリー・ウォーターズ水処理プロジェクト」のエンジニアリング・デザインマネージャーを務めた案件などが含まれます。<sup>4</sup>
- **デジタルインフラ:** データセンター、スマートシティとモビリティ、通信とネットワーク、サイバーセキュリティに関するエンド・トゥ・エンドのサービスを含む、デジタルインフラ・ソリューションを提供しています。ジェイコブスは過去5年間で、1,000万平方フィート以上、130億ドル相当のデータセンターをクライアントに提供し、マイアミ市やジョージア州ピーチツリー市のスマートシティへの取り組みにも協力してきました。<sup>5</sup>

当社は、ジェイコブス・エンジニアリングと類似企業は、米国のインフラ整備から恩恵を受ける絶好の位置にあると考えています。ジェイコブスは、「米国雇用計画」で概要が示されているものを含め、インフラ開発のあらゆる面でソリューションを提供しています。これには、物理的な構造物や交通機関を含む伝統的なインフラプロジェクトに加え、クリーンエネルギーやデジタルインフラを含む次世代のインフラプロジェクトも含まれます。

また、ジェイコブスには、米国内および公共部門でこれらのプロジェクトを遂行してきた実績があります。ファクトセットが提供する2020年9月のGeoRevデータによると、ジェイコブスの過去12ヶ月間の収益の75%は米国内からのものでした<sup>6</sup>。また、ジェイコブスは2020年に、米国政府との契約が全収益の33%(米国内の収益の44%)を創出したと報告しています。ジェイコブスのCEOであるスティーブン・デメトリウが2021年第2四半期の決算説明会で述べたように、「米国のインフラ整備の機会が拡大し続ける限り、(ジェイコブスは)現在持っている能力だけでも、極めて有利な立場にある<sup>7</sup>」と言えます。



従来型および次世代型のインフラプロジェクトに携わってきた実績を持つジェイコブス・エンジニアリング

インフラ分野	物理的インフラ		
	交通インフラ:	建物	耐性・強度
ジェイコブスの実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空港</li> <li>• 鉄道</li> <li>• 港湾・水路</li> <li>• 高速道路、道路、橋／トンネル</li> <li>• スマート・モビリティ</li> <li>• 電気自動車／水素自動車関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 連邦政府ビル</li> <li>• 州／地方政府ビル</li> <li>• 病院</li> <li>• 商業ビル(本社ビルを含む)</li> <li>• 高等教育機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 天災等による被害の軽減</li> <li>• クリーンアップ・修復</li> <li>• インフラ保存</li> <li>• 保守・保全</li> </ul>
インフラ分野	公益事業		
	再生可能エネルギー	電化	水
ジェイコブスの実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 風力発電所</li> <li>• 太陽光発電設備</li> <li>• 水力発電所</li> <li>• 地熱開発</li> <li>• 水素利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スマート・グリッド／マイクロ・グリッド</li> <li>• EV充電ステーション</li> <li>• 電力システムの最適化</li> <li>• 電池エネルギー貯蔵システム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水源からの取水</li> <li>• 送水・配水</li> <li>• 貯水</li> <li>• 浄水処理</li> <li>• 下水処理</li> </ul>
インフラ分野	その他		
	デジタルインフラ	先進的製造業	科学技術研究施設
ジェイコブスの実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データセンター:</li> <li>• 電気通信ネットワーク</li> <li>• スマートシティ／モビリティ</li> <li>• サイバーセキュリティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 半導体</li> <li>• ナノテクノロジー</li> <li>• 先進素材</li> <li>• 航空機／自動車の組み立て</li> <li>• 宇宙空間での製造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究所・リサーチセンター</li> <li>• 遺伝子治療薬製造</li> <li>• 量子力学研究</li> <li>• 宇宙開発</li> </ul>

出典:ジェイコブス・エンジニアリング、Global X ETFs 2021。

ハッペル: 電化された未来のための電気製品の製造

ハッペルは、様々なエンドマーケットや環境で使用される電気製品を製造する、製品・機器メーカーです。ハッペルの製品は、以下のような米国のインフラ整備の分野で、重要な役割を果たす可能性があります。

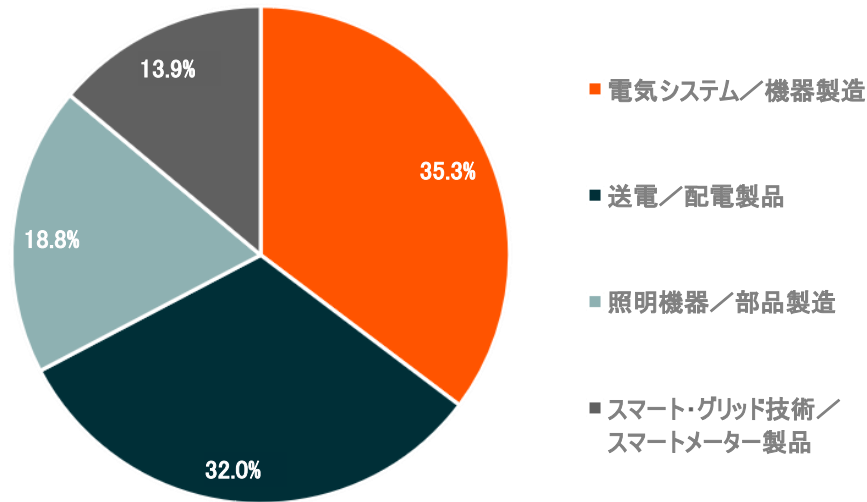
- **建物:** 住宅から商業用・産業用まで、ほとんどのセクターの電化された建物や構造物に使用される機器や部品を生産しています。これには、送電、照明(臨時照明を含む)、エネルギー効率の向上に関連する製品や、建築物の建設およびエンジニアリング・プロジェクトに使用される製品が含まれます。<sup>8</sup>
- **クリーンエネルギー／クリーンテクノロジー:** 再生可能エネルギー・プロジェクトに使用される製品を製造しています。これには、再生可能エネルギーの発電と送電、および再生可能エネルギー発電所の建設と設置に使用される部品が含まれます。<sup>9</sup>またハッペルは、スマート・グリッド・コンポーネントを含む公共事業レベルの配電に使用される電気製品を製造しています。<sup>10</sup>
- **デジタルインフラ:** データセンターや通信インフラに使用される機器や部品を提供しています。これらの製品には、データ伝送や送電に使用されるケーブル、コネクタ、デバイスや、サーバーラック、ウォールマウント、ケーブルマネジメント・システムなどの機器が含まれます。<sup>11</sup>

ハッペルをはじめとする製品・機器メーカーは、米国政府による幅広いインフラ投資から恩恵を受ける可能性があります。「雇用計画」には、クリーンエネルギーやクリーンテクノロジーに関連した3,000億ドル以上の支出が含まれています。<sup>12</sup>ハッペルは、電気製品の提供を通して、この支出から収益を得ることが期待されます。「雇用計画」内のこの部分については、米国議会で盛んに行われている議論の結果次第ですが、建物やデジタルインフラに対する同様の大規模な支出でより確実なものだけでも、ハッペルの収益につながる可能性があります。当社は、ハッペルの収益の92%が米国内に集中しており、クオンタ・サービシズのような建設・エンジニアリング会社と密接な関係にあることから、同社はインフラ関連の収益を獲得する能力を備えていると見ています。<sup>13,14</sup>



## インフラ開発に関連する複数のカテゴリーにまたがるハッペルの収益源

ハッペルの収益内訳(総収益に占める割合)



注: ファクトセットRBICSレベル6の産業分類を代表する収益カテゴリーで、ファクトセット独自のRBICSアルゴリズムによって算出された数値です。  
出典: ファクトセット、Global X ETFs、2021年5月

### インスティール: 原材料と複合材による耐性・強度の向上

インスティールは、補強用の鋼製配線を製造する原料・複合材メーカーです。インスティール製品は、以下のようなプロジェクトを含む様々なコンクリート建設用途に採用されています。

- 輸送・建物:** コンクリートの構造的完全性を向上させる鋼製溶接ワイヤ補強(WWR)製品を製造しています。これらの製品のの一つである標準溶接ワイヤ補強材は、建物や橋の弾力性増強に不可欠で、コンクリートのひび割れを防ぎます。エンジニアード・ストラクチャル・メッシュは、もうひとつのWWR製品で、重量をコンクリート全体に均等に分散させ、トンネルや橋のような重量のかかるインフラを強化します。<sup>15</sup>また、インスティールでは、鉄道用をはじめとする多種多様な伸線品も販売しています。
- 水道施設:** WWR提供の一環として、コンクリートパイプ補強を提供しています。鋼製配線で、廃水の収集・管理、および灌漑プロジェクトに使用されるコンクリート配管を補強するものです。<sup>16</sup>

インスティールのような原材料・複合材企業は、物理的なインフラ資産を形成する重要な要素を提供しています。建物、交通機関、水利施設などでは、標準装備として、溶接ワイヤ補強やその他のスチールワイヤ補強製品が採用されている場合があります。寿命の延長と耐性・強度に新たな重点が置かれるようになると、異常気象や時間の経過に耐えられるようにインフラの建設や改修が行われるようになり、これらの製品の使用が促進される可能性があります。インスティールは特に、売上高の99.5%が米国内からのものとなっているため、先述のような財政支出の恩恵を受ける可能性が高くなっています。<sup>17</sup>

### ユニオン・パシフィック・コーポレーション: 鉄道と道路によるインフラ提供

ユニオン・パシフィックは、米国23州で5万マイル以上に及ぶ米国最大の鉄道網を運営する産業輸送会社です。<sup>18</sup> 米国西部では、建設資材、工業化学品、原材料・複合材、エネルギー、食品など、ほとんどのセクターのクライアントにサービスを提供しています。ユニオン・パシフィックは、多くの産業輸送会社と同様に、路線のない地域にも



サービスを行っており、その中には「ドア・ツー・ドア」や「ラスト・マイル・デリバリー」のような、需要者のすぐ近くまで輸送する配送サービスも含まれます。<sup>19</sup>

ユニオン・パシフィックのような産業輸送会社は、米国のインフラ整備に欠かせない存在であると当社は考えています。産業輸送会社とは、インフラ建設の素材となる原材料や複合材、製品や機器を、建設現場に運ぶ会社です。インフラ開発には、これまで到達できなかった場所に新たなインフラを構築することも多く伴います。これは、そのようなインフラに当初から携わっていた業者にとっては、克服するのが困難な課題です。「ドア・ツー・ドア」の産業輸送サービスは、このような物流上の困難な課題を解決し、建設会社やエンジニアリング会社の効率化に貢献します。

## 結論

米国のインフラ開発について大きな部分の法制化が視野に入ってきましたが、比較的小規模で散発的なものについての法制化はすでに始まっています。4月に上院は、超党派の「上下水道整備法 (Drinking Water and Wastewater Infrastructure Act of 2021)」を可決しました。この法律が成立すれば、水インフラに350億ドルが投資されることとなります。<sup>20</sup>また、最近の新型コロナウイルス救済法案の一環として、デジタルインフラに70億ドル、交通システムに310億ドルの支出が議会で承認されました。<sup>21</sup>、<sup>22</sup>このような支出は、米国のインフラ開発のバリューチェーン全体の企業にとって、より多くの追加的な収益源となることが期待されます。

投資には元本が毀損する可能性などのリスクが伴います。対象を絞った投資は、一般的により高いボラティリティを示します。インフラ関連企業への投資は特に経済、規制、政治、その他のあらゆる側面における変化から悪影響を被る可能性があります。インフラ関連の企業への投資は、政府の規制、資金調達プログラムに伴う利息費用増加、環境規制の遵守や変更に伴う費用、景気悪化、過剰生産、サービスプロバイダーとの競合などの要因による様々なリスクにさらされることとなります。

この情報は運用担当者の見解を含みますが、これは個人または個別の投資アドバイスまたは税務アドバイスを意図するものではありません。この見解を売買または取引のために使用しないでください。

<sup>1</sup> ジェイコブス・エンジニアリング「交通」2021年

<sup>2</sup> ジェイコブス・エンジニアリング「建築物」2021年

<sup>3</sup> ジェイコブス・エンジニアリング「エネルギー・公共事業」2021年

<sup>4</sup> ジェイコブス・エンジニアリング「水」2021年

<sup>5</sup> ジェイコブス・エンジニアリング「建築環境」2021年



- 6 ファクトセット、ジェイコブス・エンジニアリングGeoRevデータ、2020年9月
- 7 ジェイコブス・エンジニアリング2021年第2四半期収益報告
- 8 ハッベル「市場」2021年
- 9 ハッベル「再生エネルギー製品ガイド」2021年
- 10 ファクトセット、ハッベルRBICSデータ、2021年5月
- 11 ハッベル「データケーブル・フデータケーブルと光ファイバのエンクロージャー・ソリューション」2021年
- 12 Global X ETFs「バイデン大統領の2兆ドル超のアメリカ雇用計画はインフラにどのような影響を及ぼすか？」2021年4月1日
- 13 ファクトセット、ハッベルGeoRevデータ、2020年12月
- 14 CSIマーケット「クオンタ・サービシズ・サプライヤーズ」2021年6月15日アクセス
- 15 インスティール「溶接ワイヤ補強」2021年
- 16 同上
- 17 ファクトセット、インスティールGeoRevデータ、2020年9月
- 18 アークベスト「鉄道貨物輸送: 米国のクラスI鉄道」2018年8月
- 19 ユニオン・パシフィック「顧客」2021年
- 20 ロイター「米上院、350億ドルの水インフラ法案を圧倒的多数で可決」2021年4月
- 21 ワイリー「米連邦議会が最新のCOVID-19刺激策法案で新規ブロードバンドに約70億ドル拠出決定」2020年12月
- 22 米運輸省「米国運輸省長官ピート・ブティジェッジが新型コロナウイルス対応として米国の公共交通機関支援に305億ドル拠出を発表」2021年3月29日

